



日 乗 連 ニ ュ ー ス

ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2006.02.06

No. 29 - 29

発行: 日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan

幹事会

〒144-0043

東京都大田区羽田5-11-4

フェニックスビル

TEL.03-5705-2770

FAX.03-5705-3274

E-mail:office@alpajapan.org

## < IFALPA AA 委員会 in Hong Kong 報告 >

# エールフランス、カンタス航空では、 事故に遭遇した乗員は、速やかな乗務復帰 ヨーロッパでも多発する DASH-8 Q400 トラブル

2005年11月22日～24日、香港にてIFALPA AA（事故解析）委員会が開催されました。今回は22カ国、39名の各国代表とICAO（国際民間航空条約機構）、BOEING、AIRBUS等からのobserverを含め参加総数45名、日本からはALPA Japan 館野 AA 委員長が出席しました。会議では各国の事故、インシデントに関する報告や、安全に関する取り組みについて活発な討議が行なわれました。

前回5月ドイツでのIFALPA AA委員会において、「事故の被害者や家族の精神的ケア問題」の担当としてALPA Japanが指名されました。そこで今回の会議で、2005年9月米国テキサスにて開催されたISASIセミナーでNTSBが行なった「NTSB Family Assistance History and Support Requirements」の内容を紹介しました。（内容は既刊のALPA Japan News No. 29-03「ISASI 参加報告」をご覧ください。）この他、8月に関西国際空港で発生したカンタス航空A330-300型機によるダイバート後の緊急脱出事故に関する報告や、国内で多発するDASH-8 Q400のトラブルの問題、JAL706便事故の控訴審の状況報告、航空機の振動に関する技術的なプレゼンテーション等を行ないました。

## < カンタス航空緊急脱出事故支援体制 >

カンタス航空事故の乗員に対する支援に関し、オーストラリアALPAからALPA Japanの適切な対応に対し改めて感謝の言葉が述べられ、会場内の参加者からは大きな拍手で賞賛されました。そしてChairmanから、「IFALPA加盟組織による国際的な乗員支援が的確に行われた良い事例として、今後各国の活動への参考にしてもらいたい」とのコメントがなされました。



## < EMER Check list に於ける

### ” to land at the nearest suitable airport ” の解釈 >

更にカンタス航空事故に関連して「EMERGENCY CHECK LIST に記述されている to land at the nearest suitable airport」の解釈について問い合わせたところ、あくまで個人的な見解であると断った上で、Airbus の担当者は "nearest suitable" was a compromise between the nature of the emergency and the facilities (such as fire fighting level) available at one particular airport. また BOEING は the crew should aim at landing at the safest airport for the aircraft involved, taking into consideration factors such as runway length と述べました。

## < 海外では事故乗員の復帰は数ヶ月以内 >

当該事故機の乗員の内、2 名の SIC は数週間で復帰し、PIC もほぼ同時期の復帰の流れでした。しかし PIC はストレスの影響で年末まで休暇をとることとなりました。又同年 8 月にカナダ、トロントで発生した Air France A340 型機によるオーバーラン事故に関しても、事故原因は現在調査中で、乗員は現在復帰の途上、間もなく完全に復帰の見通しであるとの報告がなされました。ここでも日本に於ける同種事例への対応の違いが際立ちました。

## < DASH-8 Q400 トラブル多発 >

日本で多発する当該機のトラブルに関して他国の状況を問い合わせたところ、ヨーロッパでも少なくとも 5 つの航空会社で同様のトラブルが多発し、特に同型機 25 機を所有する SAS でも大きな問題となっています。またカナダ、オーストラリアで DASH-8 を運航している会社も大変注目しており、関連情報が入り次第日本に提供してくれる事となりました。

## < JAL706 便事故裁判関連 >

当該事例は現在控訴審への準備段階で大きな状況の変化は無い事の報告と、機体の振動に関する技術的なプレゼンテーションを行ないました。

<< 次回 IFALPA AA Committee は 5 月に ROME です >>

\*\*\*\*\* 日乗連手帳の変更 \*\*\*\*\*

日乗連手帳 IFALPA 緊急連絡電話番号が

.....  
+ 44(0)1202 653110 に変更になりました

上記のように手帳の見開きの電話番号が、変更になっております。各自で変更をお願いいたします。